融　雪　用　電　力

2025年４月１日　実施

中部電力ミライズ株式会社

Ⅰ　本　　則

１　適　　用

⑴　この個別要綱の融雪用電力は，毎日午前10時から午前12時までおよび午後１時から午後３時までの時間帯のうちの２時間を除いた22時間を限り，融雪のために毎年，一定期間を限り，３月以上継続して動力（小型機器は動力とみなします。）を使用する需要で，契約電力が原則として50キロワット未満であり，かつ，この個別要綱実施の際現に融雪用電力（2024年４月１日実施）の適用を受けている場合に適用いたします。

⑵　この個別要綱は，基本契約要綱（低圧）（以下「基本要綱」といいます。）とあわせて適用いたします。

２　供給電気方式，供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は，交流単相２線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルト，交流単相３線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトまたは交流３相３線式標準電圧200ボルトとし，周波数は，標準周波数60ヘルツといたします。

３　契 約 電 力

契約電力は，契約負荷設備の総入力といたします。ただし，契約負荷設備に電熱負荷設備以外の負荷設備がある場合は，電熱負荷設備以外の負荷設備について基本要綱18（低圧電力）⑷イに準じて算定してえた値と電熱負荷設備の総入力との合計といたします。

なお，上記により算定された値が0.5キロワット以下となる場合は，契約電力は，0.5キロワットといたします。

４　供 給 条 件

⑴　他の個別要綱により電気の供給を受ける負荷設備と同一の負荷設備を使用することはできません。

(2) 専用の電路を施設し，直接負荷設備に接続していただきます。

(3) 契約上電気を使用できる期間（以下「契約使用期間」といいます。）をあらかじめ設定していただきます。

(4) 当社は，供給設備の状況により，１（適用）の時間帯を前後２時間の範囲内で変更することがあります。ただし，この場合においても，時間帯の延長または短縮は行ないません。

(5) 契約上電気を使用できる時間（以下「契約使用時間」といいます。）以外の時間は，適当な装置を用いて電気の供給を原則としてしゃ断いたします。

５　料　　金

料金は，基本料金，電力量料金および別表２（再生可能エネルギー発電促進賦課金）(3)によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計といたします。ただし，基本料金は，(3)によって力率割引または割増しをする場合は，力率割引または割増しをしたものといたします。また，電力量料金は，別表１（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が45,900円を下回る場合は，別表１（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし，別表１（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が45,900円を上回る場合は，別表１（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を加えたものといたします。

なお，契約使用期間以外の期間については，料金を申し受けません。

(1) 基本料金

基本料金は，１月につき次のとおりといたします。ただし，契約電力が0.5キロワットの場合の基本料金は，契約電力が１キロワットの場合の基本料金の半額といたします。

なお，１年の基本料金の合計は，最低保証料金（契約使用期間の最初の３月までの基本料金の３月分とし，その１年の契約電力の最大値によって

算定いたします。）を下回らないものといたします。

契約電力１キロワットにつき	契約使用期間の最初の３月まで	2,143円49銭
	３月超過	625円49銭

(2) 電力量料金

電力量料金は，その１月の使用電力量によって算定いたします。

１キロワット時につき	15円51銭

(3) 力率割引および割増し

電気機器の力率をそれぞれの入力によって別表３（加重平均力率の算定）により加重平均してえた値が，85パーセントを上回る場合は，基本料金を５パーセント割引し，85パーセントを下回る場合は，基本料金を５パーセント割増しいたします。この場合，電気機器の力率は，託送約款等に定める基準に適合した容量の進相用コンデンサが取り付けてあるものについては90パーセント，取り付けてないものについては80パーセント，電熱器については100パーセントといたします。

なお，まったく電気を使用しないその１月の力率は，85パーセントとみなします。

６ そ の 他

(1) 技術上，経済上やむをえない場合等特別の事情がある場合で，お客さまが希望されるときは，１需要場所において，この個別要綱以外の個別要綱による電気の供給と，この個別要綱による電気の供給とをあわせて受けることができます。

(2) １年の基本料金の合計が最低保証料金を下回る場合に申し受ける料金の

支払義務発生日は，その金額が明らかになった日の直後のそのお客さまの属する検針区域の検針日といたします。

(3) その他の事項については，次に定める場合を除き，基本要綱の低圧電力にかかわる規定によります。

イ　次のいずれかに該当する場合には，基本要綱37（違約金）に準じて違約金を申し受けます。

(ｲ) 契約された用途以外の用途に電気を使用された場合

(ﾛ) 契約使用期間以外の期間に電気を使用された場合

(ﾊ) 契約使用時間以外の時間に電気を使用された場合

ロ　基本要綱６（需給契約の申込み）(2)に定める事項については，適用いたしません。

(4) この個別要綱の実施上必要な細目的事項については，Ⅱ（実施細目）によるものといたします。

Ⅱ　実 施 細 目

１　適 用 範 囲

契約使用期間については，あらかじめ申出があった場合に限り，短縮または延長の取扱いをいたします。ただし，継続して使用する期間は，３月を下回らないものといたします。

２　供 給 条 件

⑴ 当社は，契約使用時間以外の時間をあらかじめ設定いたします。ただし，お客さまに特別の事情がある場合には，お客さまと当社との協議によって定めます。

⑵ 契約使用時間以外の時間に電気の供給をしゃ断しない場合は，原則として電気を使用していないことを確認する装置を取り付けます。

⑶ 契約使用時間を区分し，または契約使用時間以外の時間の電気の供給をしゃ断する装置は，託送約款等にいう区分装置として取り扱うものといたします。

附　　則

１　実 施 期 日

この個別要綱は，2025年４月１日から実施いたします。

２　需給契約の単位にかかわる取扱い

技術上，経済上やむをえない場合等特別の事情がある場合で，お客さまが希望されるときは，本則６（その他）(1)にかかわらず，特定小売供給約款（以下「供給約款」といいます。なお，供給約款を変更した場合には，変更後の約款といたします。）による電気の供給と，この個別要綱による電気の供給とをあわせて受けることができます。

３　この個別要綱の適用についての特別措置

道路その他公共の用に供せられる土地において，融雪のために毎年，一定期間を限り，３月以上継続して動力を使用する需要で，契約電力が原則として50キロワット未満であり，かつ，お客さまと当社とが合意したときは，本則１（適用）にかかわらず，この個別要綱を適用いたします。この場合，本則４（供給条件）(4)および(5)，本則６（その他）(1)，(3)イ(ハ)およびロ，Ⅱ（実施細目）２（供給条件）ならびに附則２（需給契約の単位にかかわる取扱い）については，適用いたしません。

別　　表

1　燃料費調整

(1) 燃料費調整額の算定

イ　平均燃料価格

原油換算値１キロリットル当たりの平均燃料価格は，貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき，次の算式によって算定された値といたします。

なお，平均燃料価格は，100円単位とし，100円未満の端数は，10円の位で四捨五入いたします。

平均燃料価格＝Ａ×α＋Ｂ×β＋Ｃ×γ

Ａ＝各平均燃料価格算定期間における１キロリットル当たりの平均原油価格

Ｂ＝各平均燃料価格算定期間における１トン当たりの平均液化天然ガス価格

Ｃ＝各平均燃料価格算定期間における１トン当たりの平均石炭価格

α＝0.0275

β＝0.4792

γ＝0.4275

なお，各平均燃料価格算定期間における１キロリットル当たりの平均原油価格，１トン当たりの平均液化天然ガス価格および１トン当たりの平均石炭価格の単位は，１円とし，その端数は，小数点以下第１位で四捨五入いたします。

ロ　燃料費調整単価

燃料費調整単価は，次の算式によって算定された値といたします。

なお，燃料費調整単価の単位は，１銭とし，その端数は，小数点以下第１位で四捨五入いたします。

(ｲ) １キロリットル当たりの平均燃料価格が45,900円を下回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (45{,}900\text{円} - \text{平均燃料価格}) \times \frac{(2)\text{の基準単価}}{1{,}000}$$

(ﾛ) １キロリットル当たりの平均燃料価格が45,900円を上回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{平均燃料価格} - 45{,}900\text{円}) \times \frac{(2)\text{の基準単価}}{1{,}000}$$

ハ　燃料費調整単価の適用

各平均燃料価格算定期間の平均燃料価格によって算定された燃料費調整単価は，その平均燃料価格算定期間に対応する次の燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用いたします。

平均燃料価格算定期間	燃料費調整単価適用期間
毎年１月１日から３月31日までの期間	その年の５月の検針日から６月の検針日の前日までの期間
毎年２月１日から４月30日までの期間	その年の６月の検針日から７月の検針日の前日までの期間
毎年３月１日から５月31日までの期間	その年の７月の検針日から８月の検針日の前日までの期間
毎年４月１日から６月30日までの期間	その年の８月の検針日から９月の検針日の前日までの期間
毎年５月１日から７月31日までの期間	その年の９月の検針日から10月の検針日の前日までの期間
毎年６月１日から８月31日までの期間	その年の10月の検針日から11月の検針日の前日までの期間
毎年７月１日から９月30日までの期間	その年の11月の検針日から12月の検針日の前日までの期間
毎年８月１日から10月31日までの期間	その年の12月の検針日から翌年の１月の検針日の前日までの期間
毎年９月１日から11月30日までの期間	翌年の１月の検針日から２月の検針日の前日までの期間
毎年10月１日から12月31日までの期間	翌年の２月の検針日から３月の検針日の前日までの期間
毎年11月１日から翌年の１月31日までの期間	翌年の３月の検針日から４月の検針日の前日までの期間
毎年12月１日から翌年の２月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は，翌年の２月29日までの期間）	翌年の４月の検針日から５月の検針日の前日までの期間

ニ　燃料費調整額

燃料費調整額は，その１月の使用電力量にロによって算定された燃料費調整単価を適用して算定いたします。

(2) 基準単価

基準単価は，平均燃料価格が1,000円変動した場合の値とし，次のとおりといたします。

１キロワット時につき	23銭3厘

(3) 燃料費調整単価等の掲示

当社は，(1)イの各平均燃料価格算定期間における１キロリットル当たりの平均原油価格，１トン当たりの平均液化天然ガス価格，１トン当たりの平均石炭価格および(1)ロによって算定された燃料費調整単価を当社の事務所に掲示いたします。

２　再生可能エネルギー発電促進賦課金

(1) 再生可能エネルギー発電促進賦課金単価

再生可能エネルギー発電促進賦課金単価は，再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（以下「再生可能エネルギー特別措置法」といいます。）第36条第２項に定める納付金単価に相当する金額とし，再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第三十二条第二項の規定に基づき納付金単価を定める告示（以下「納付金単価を定める告示」といいます。）およびインバランスリスク単価等を定める告示により定めます。

なお，当社は，再生可能エネルギー発電促進賦課金単価を当社の事務所に掲示いたします。

(2) 再生可能エネルギー発電促進賦課金単価の適用

(1)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金単価は，当該再生可能エネルギー発電促進賦課金単価に係る納付金単価を定める告示がなされた年の４月の検針日から翌年の４月の検針日の前日までの期間に使用される電気に適用いたします。

(3) 再生可能エネルギー発電促進賦課金の算定

イ　再生可能エネルギー発電促進賦課金は，その１月の使用電力量に(1)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金単価を適用して算定いたします。

なお，再生可能エネルギー発電促進賦課金の単位は，１円とし，その端数は，切り捨てます。

ロ　お客さまの事業所が再生可能エネルギー特別措置法第37条第１項の規定により認定を受けた場合で，お客さまから当社にその旨を申し出ていただいたときは，お客さまからの申出の直後の４月の検針日から翌年の４月の検針日（お客さまの事業所が再生可能エネルギー特別措置法第37条第５項または第６項の規定により認定を取り消された場合は，その直後の検針日といたします。）の前日までの期間に当該事業所において使用される電気に係る再生可能エネルギー発電促進賦課金は，イにかかわらず，イによって再生可能エネルギー発電促進賦課金として算定された金額から，再生可能エネルギー特別措置法第37条第３項第１号によって算定された金額に再生可能エネルギー特別措置法第37条第３項第２号に規定する政令で定める割合として再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法施行令に定める割合を乗じてえた金額（以下「減免額」といいます。）を差し引いたものといたします。

なお，減免額の単位は，１円とし，その端数は，切り捨てます。

３　加重平均力率の算定

加重平均力率は，次の算式によって算定された値といたします。

$$\text{加重平均力率（パーセント）}=\frac{100\text{パーセント}\times(\text{電熱器総容量})+90\text{パーセント}\times(\text{力率90パーセントの機器総容量})+80\text{パーセント}\times(\text{力率80パーセントの機器総容量})}{\text{機器総容量}}$$